

2022年3月期 通期 決算説明会資料

2022年6月6日



証券コード：4461（東証プライム）
第一工業製薬株式会社

本日のアジェンダ



- 1. 2022年3月期 連結決算** **P.3**
- 2. 2023年3月期 業績見通し** **P.15**
- 3. FELIZ 115計画の進捗とトピックス** **P.25**
- 4. 成長への3つの道** **P.31**

1. 2022年3月期 連結決算のご説明


連結 業績の概要（前期比較）



増収増益：売上高は過去最高、事業ポートフォリオ見直しによる
選択と集中を実施した結果、利益改善が進む

（単位：百万円）

	21/3月期	22/3月期	前期比増減	
			金額	増減率
売上高	59,140	62,672	3,532	6.0%
営業利益	4,485	4,626	141	3.1%
経常利益	4,314	4,192	△ 121	△ 2.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,563	2,492	△ 70	△ 2.8%

増収  売上高：光硬化樹脂用材料は大きく落ち込むものの、太陽電池用途の導電性ペーストが大幅に伸長

増益  営業利益：界面活性剤セグメントを中心とした営業努力による価格是正効果

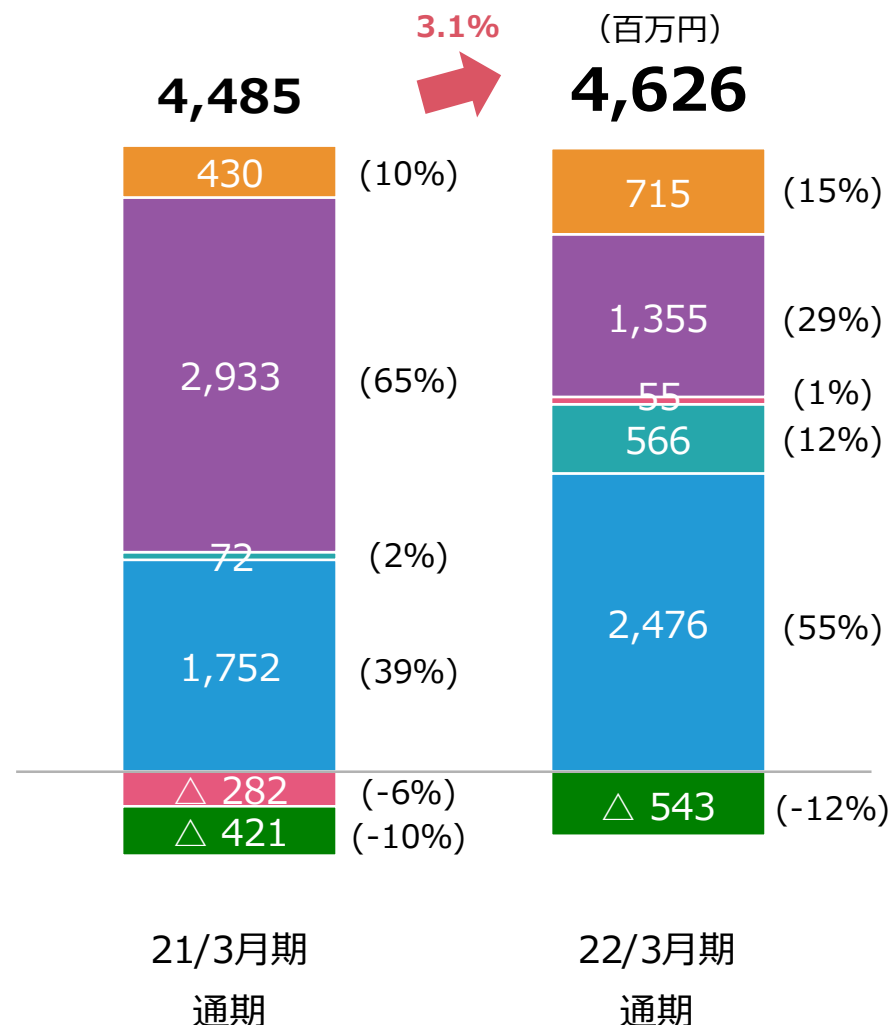
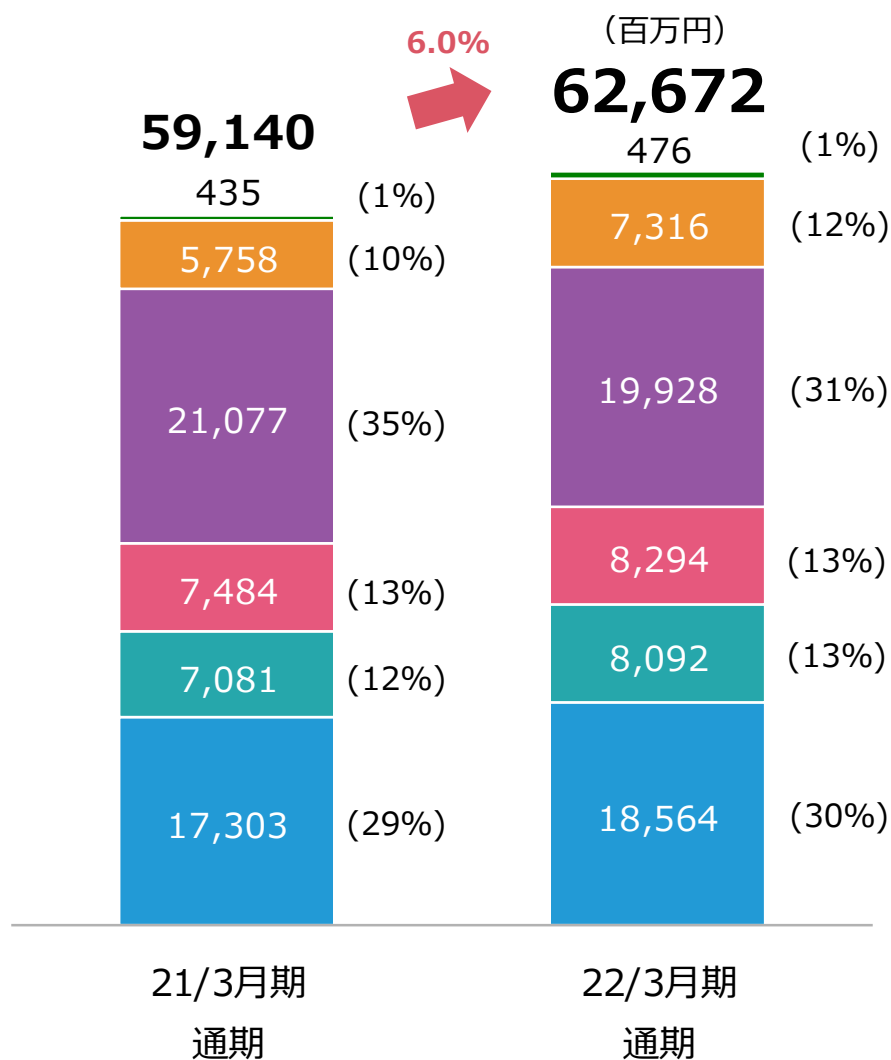
連結 セグメント別構成比の推移



売上高

営業利益

() : 構成比

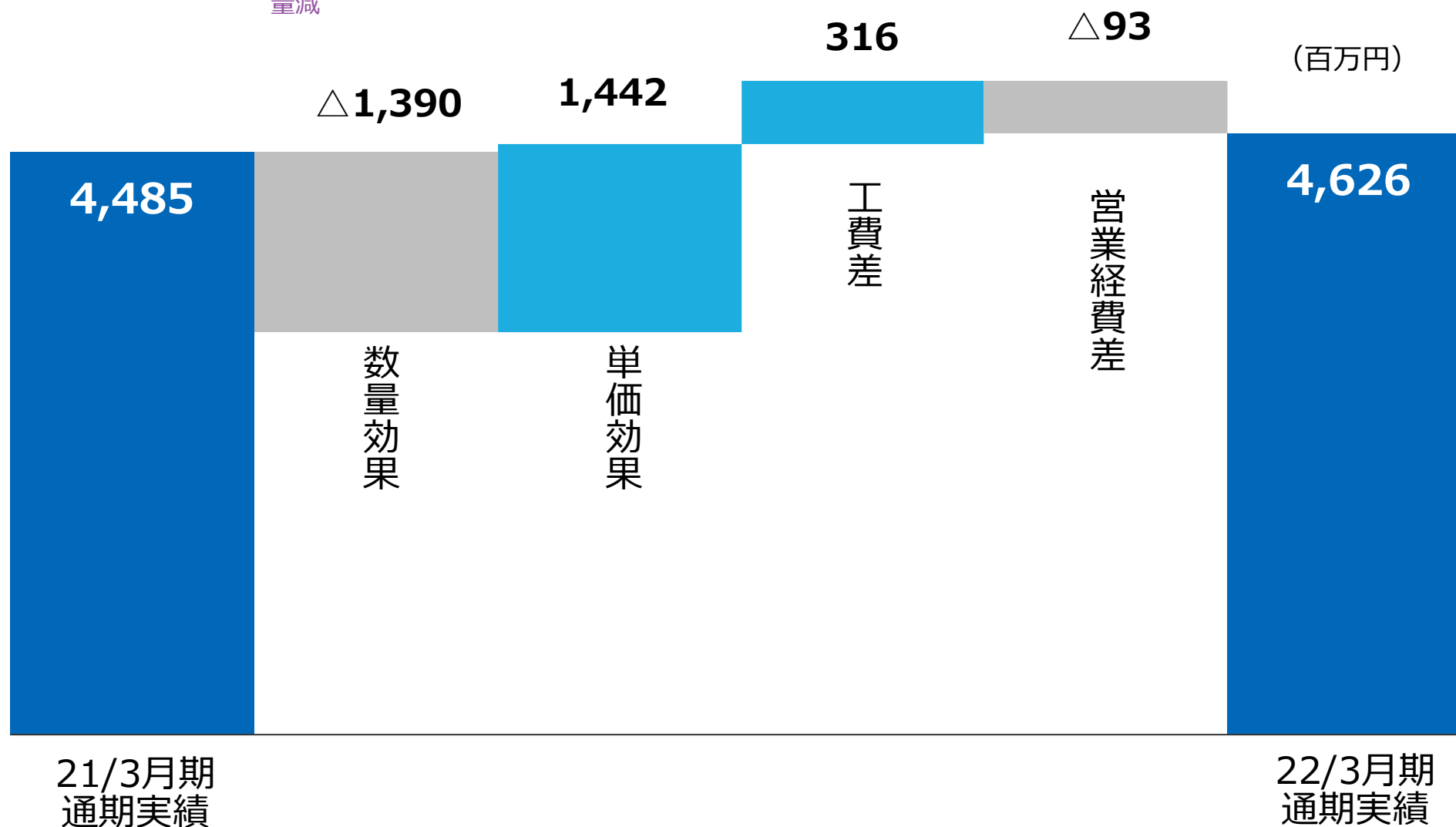


■ 界面活性剤 ■ アメニティ材料 ■ ウレタン材料 ■ 機能材料 ■ 電子デバイス材料 ■ ライフサイエンス

2022年3月期 営業利益増減分析

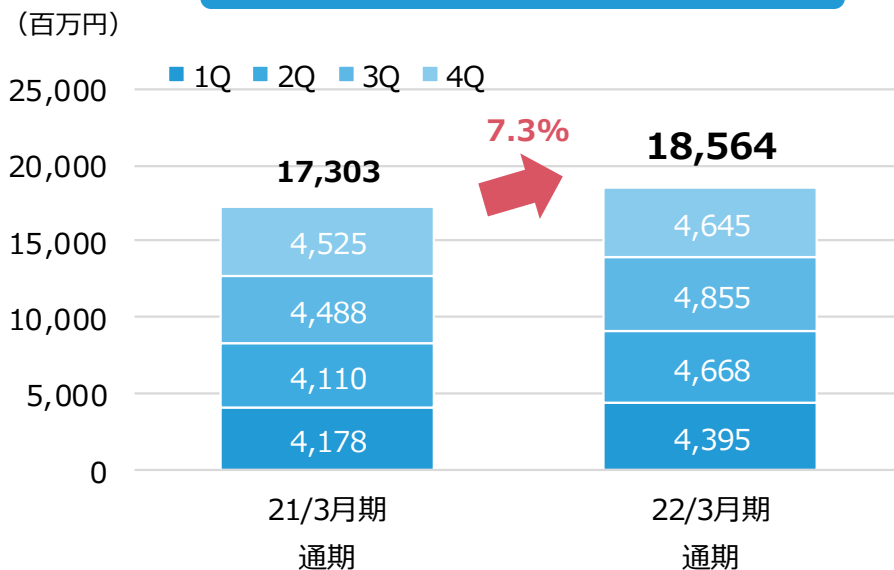


- * 界面活性剤、光硬化樹脂材料など販売数量減
- * 採算是正活動による収益性の改善
- * 営業外費用への経費振替
- * 販売費用の増加

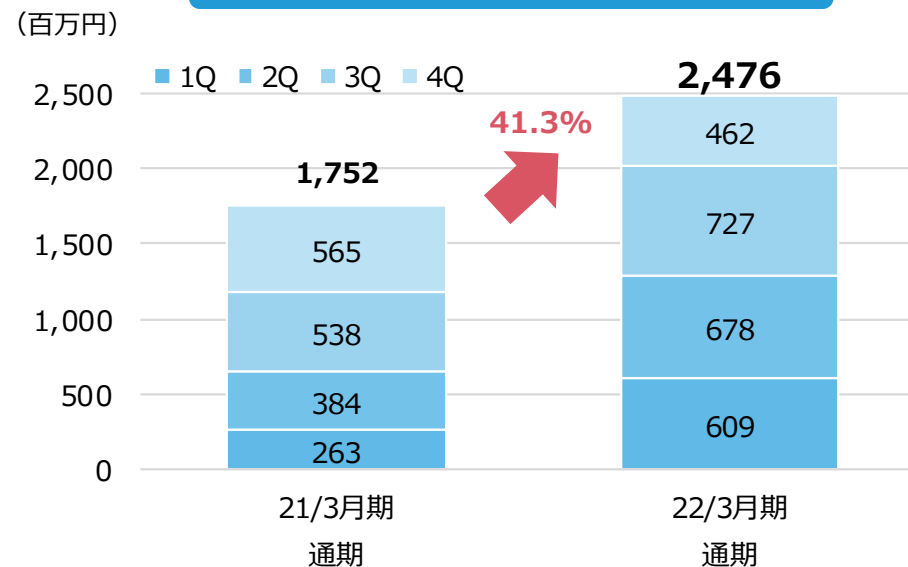


1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。

売上高



営業利益



売上高：総じて堅調に推移

- IT・電子材料用途、塗料・色材用途は堅調に推移
- 石けん・洗剤用途は大幅に伸長

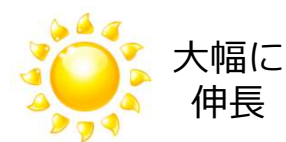
営業利益：増益

- 販売価格の是正
- 営業経費の削減

IT・電子材料用途



石けん・洗剤用途



塗料・色材

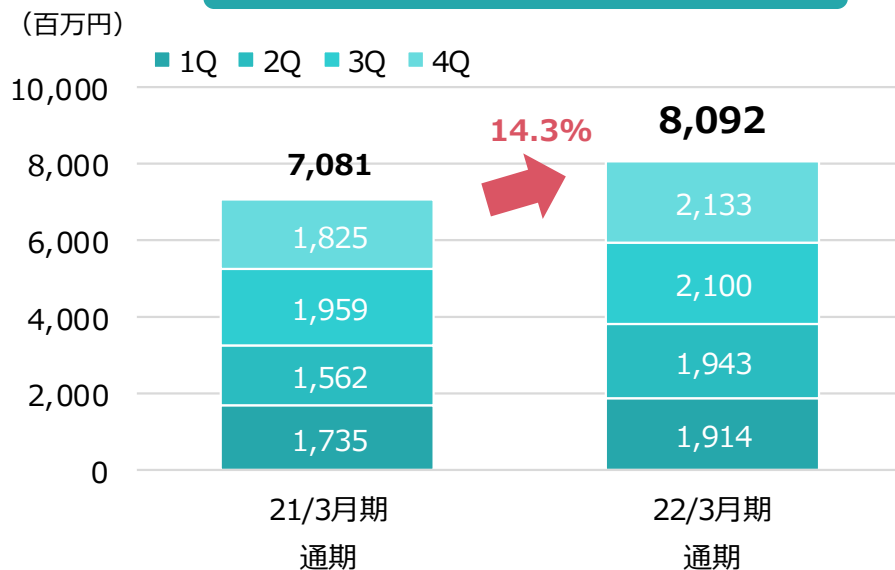


連結 セグメント業績 アメニティ材料

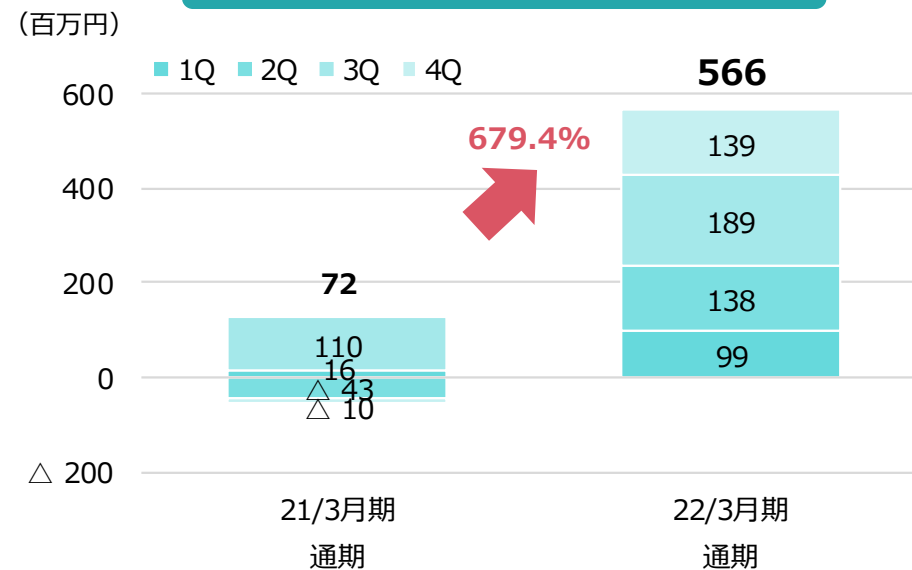


生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。

売上高



営業利益



売上高：総じて大幅に伸長

- ショ糖脂肪酸エステルは化粧品用途は堅調に推移、食品用途は大幅に伸長
- セルロース系高分子材料はエネルギー・環境用途は大幅に伸長

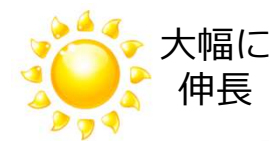
営業利益：増益

- エネルギー・環境用途の需要増加による売上高の伸長
- 営業経費の削減

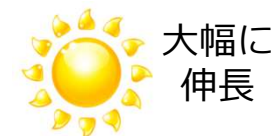
化粧品用途



食品用途



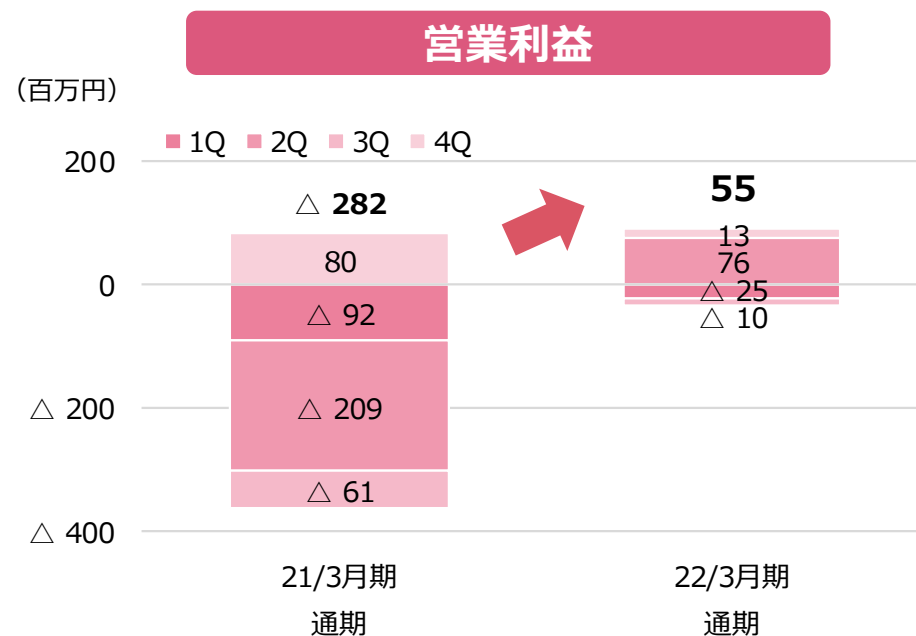
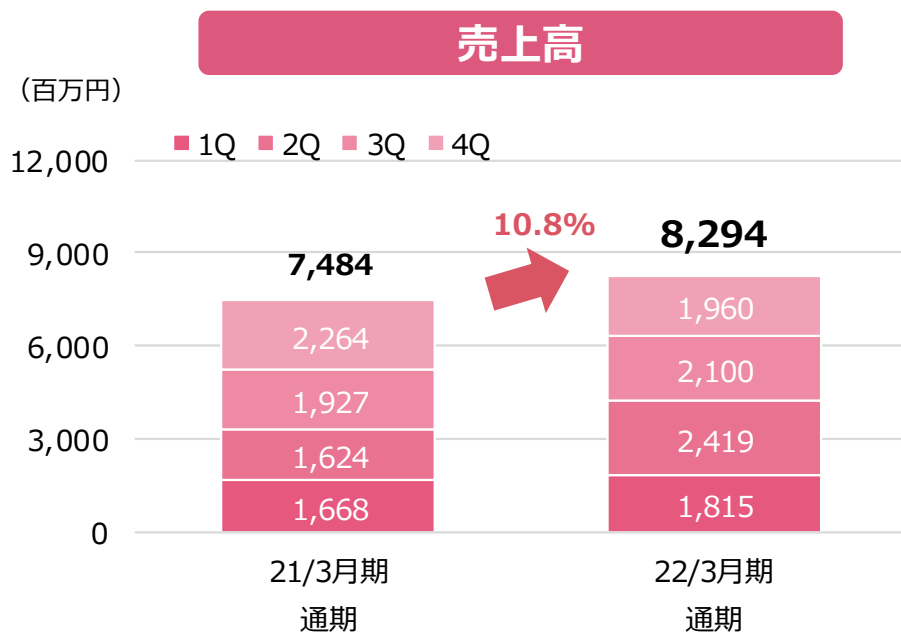
エネルギー用途



連結 セグメント業績 ウレタン材料



土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料などウレタン用原料を提供している事業です。



売上高：総じて大幅に伸長

- 土木用薬剤は堅調に推移
- 合成潤滑油は大幅に伸長
- IT・電子材料用途は堅調に推移

営業利益：増益

- 自動車産業分野の需要回復による売上高の大幅な伸長
- 研究開発の効率化による経費圧縮

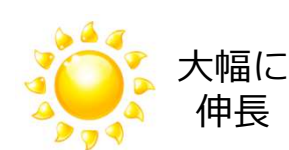
IT・電子材料用途



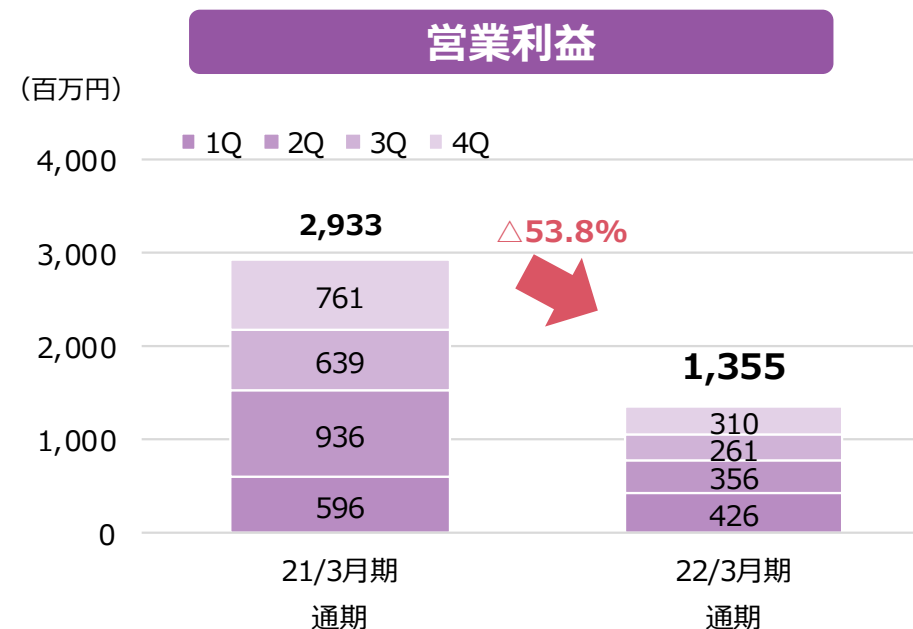
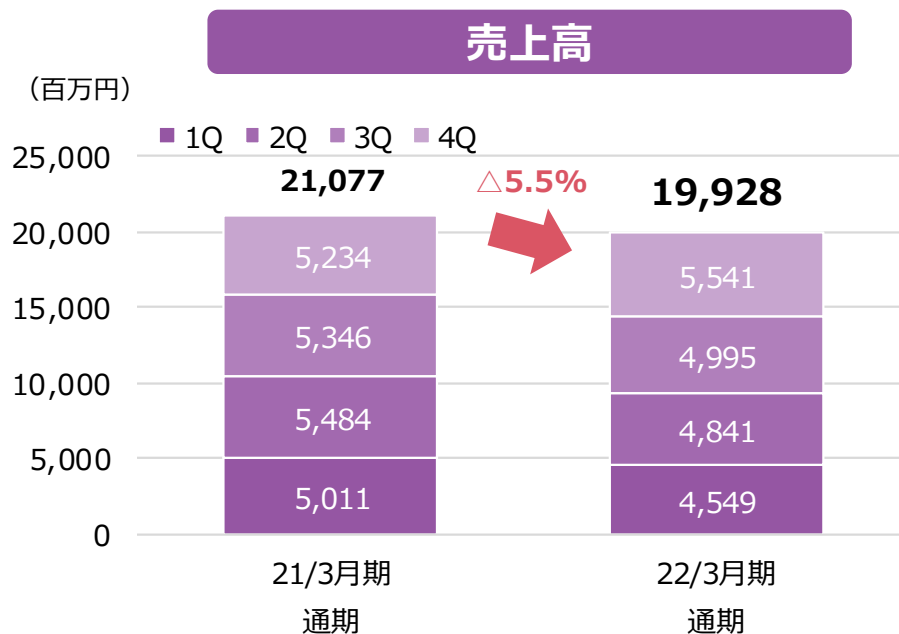
土木用薬剤:岩盤固結



合成潤滑油



家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。



売上高：総じて低調に推移

- I T・電子材料用途は大きく落ち込む
- 海外の難燃剤はゴム・プラスチック用途が大幅に伸長

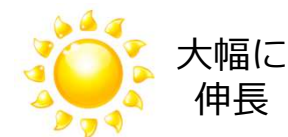
営業利益：減益

- I T・電子材料用途の売上高が大きく落ち込む
- 研究開発費を中心に営業経費が増加

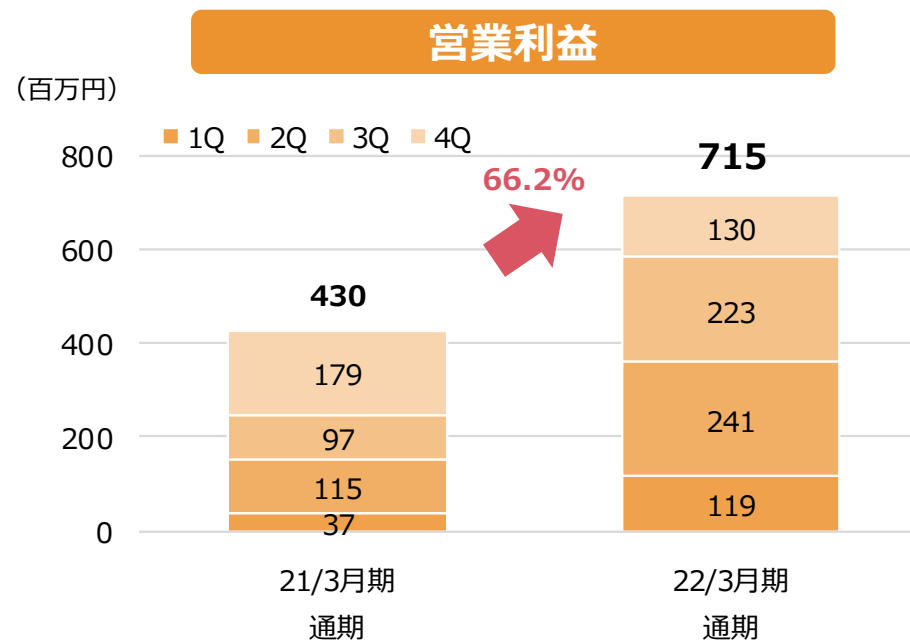
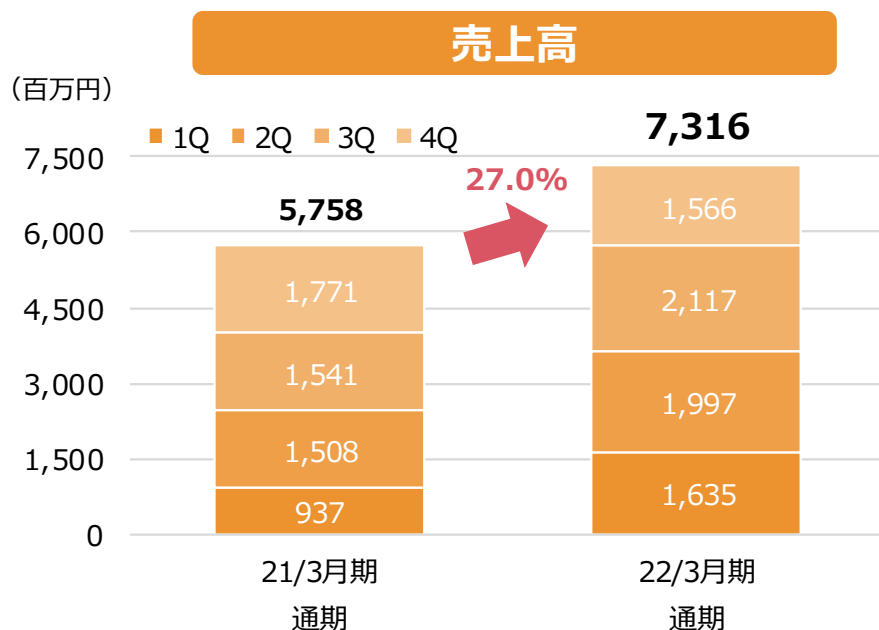
電子材料用途



プラスチック用難燃剤



家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。



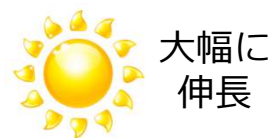
売上高：総じて大幅に伸長

- ディ스플레이用途のイオン液体は低調に推移
- 太陽電池用途の導電性ペーストは大幅に伸長

営業利益：増益

- 太陽電池用途の需要増加による売上高の大幅な伸長
- 営業経費の削減

太陽電池用途



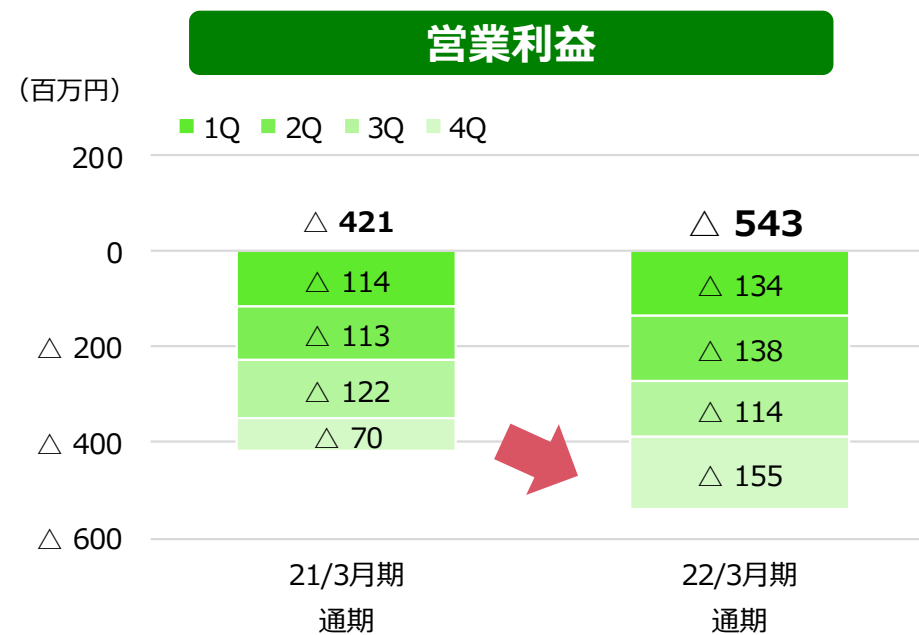
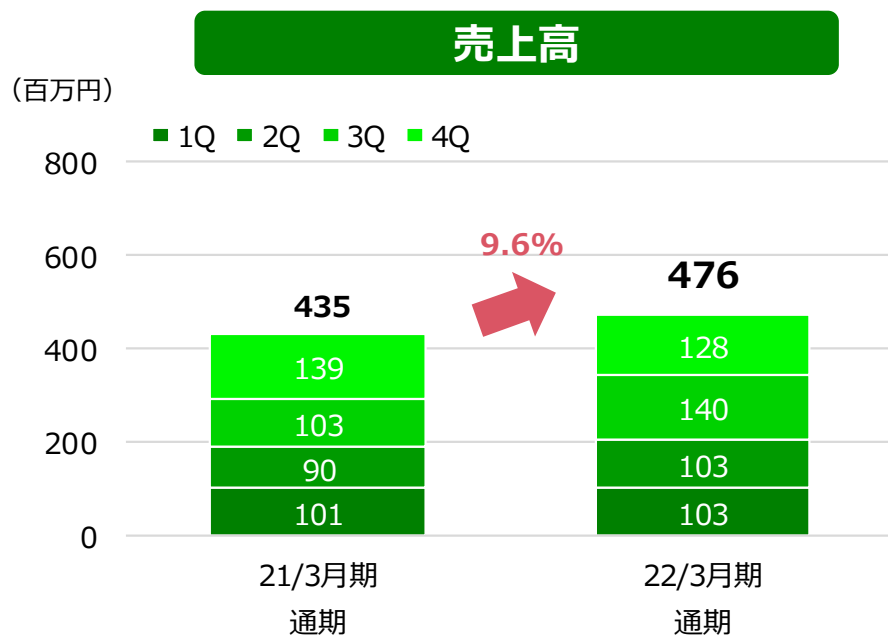
ディスプレイ用途



連結 セグメント業績 ライフサイエンス



天然由来の健康食品、天然物からの抽出・濃縮・粉末化の技術を提供している事業です。



売上高：前期と比べ41百万円増加

- カイコ冬虫夏草の販売は堅調に推移
- 健康食品等の受託事業は堅調に推移

営業利益：営業損失

- 売上高は伸長するも、研究開発費を中心に営業経費が増加

冬虫夏草



堅調に推移



健康食品等の受託事業



堅調に推移



(単位：百万円)

	2021年 3月末	2022年 3月末	増減額		2021年 3月末	2022年 3月末	増減額
流動資産	43,997	46,534	2,536	流動負債	22,071	21,726	△ 345
現預金	11,595	12,224	628	仕入債務	9,827	10,634	806
売上債権	16,866	16,492	△ 374	有利子負債	7,296	7,269	△ 26
たな卸資産	13,248	15,508	2,260	その他	4,947	3,822	△ 1,124
その他	2,287	2,308	21	固定負債	25,556	24,359	△ 1,197
固定資産	41,035	39,935	△ 1,100	有利子負債	24,809	23,603	△ 1,206
有形固定資産	34,317	33,358	△ 959	その他	747	755	8
無形固定資産	833	618	△ 214	負債合計	47,628	46,086	△ 1,542
投資・その他の資産	5,884	5,958	73	純資産	37,404	40,383	2,979
資産合計	85,033	86,469	1,436	負債・純資産合計	85,033	86,469	1,436

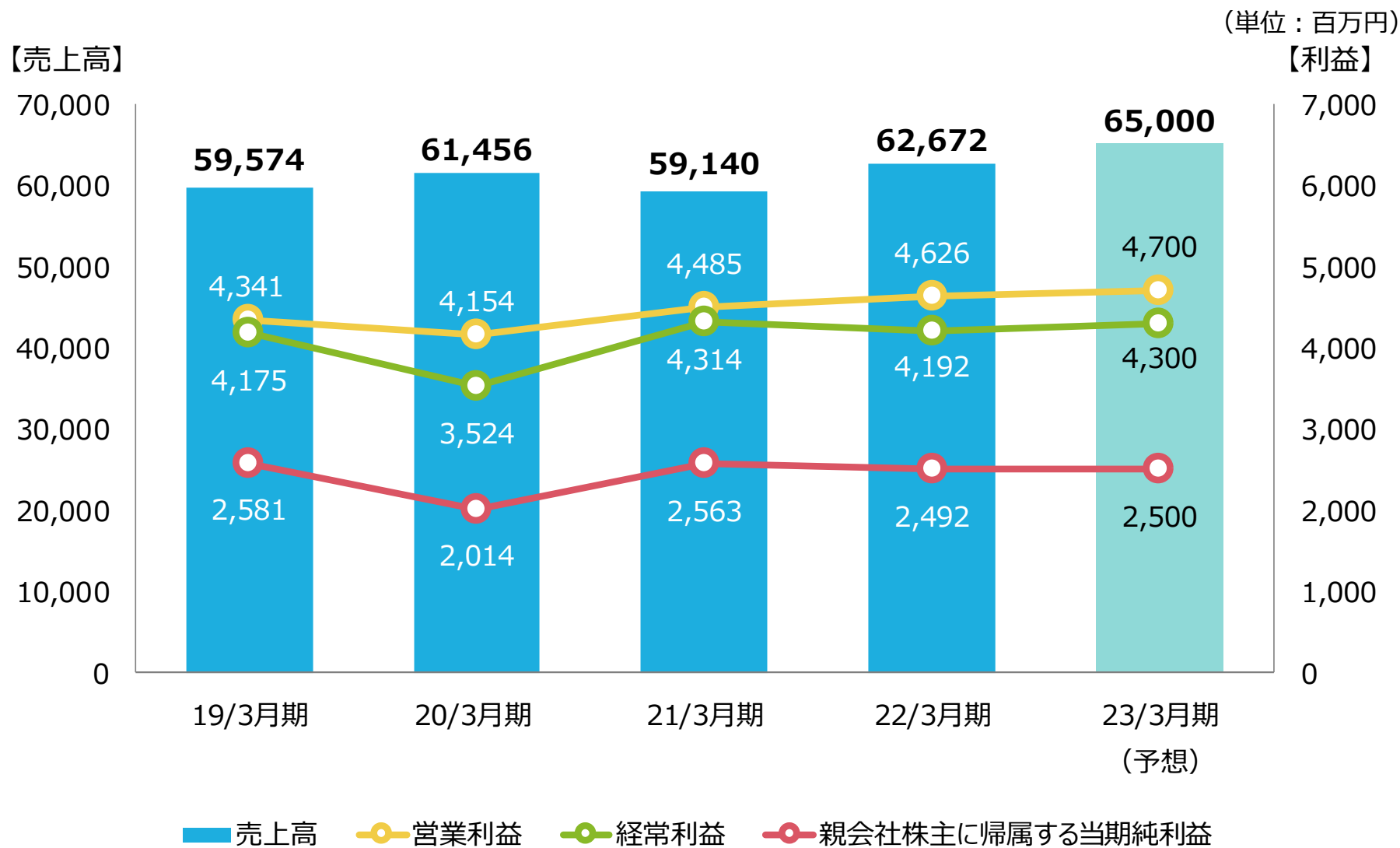
連結 連結キャッシュ・フロー計算書の概要



(単位：百万円)




	21/3月期 通期	22/3月期 通期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,955	5,520	564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,804	△ 2,700	1,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	255	△ 2,336	△ 2,591
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	135	136
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	1,405	619	△ 785
現金及び現金同等物の期末残高	11,531	12,151	619



2. 2023年3月期 業績見込みについて



連結 当社を取り巻く環境(市況)



分野	状況	2023年 3月期
自動車・二輪	半導体不足等の影響により、車両の生産が低調となり、多くの地域で納車までの期間が長期化。2023年3月期は海外のコロナまん延状況や半導体不足解消状況にもよるが回復基調と予測。	
インフラ (5G)	基地局設置は想定通り進んでいない。半導体不足に加え部材の価格高騰が継続。	
インフラ (リニア新幹線)	リニア中央新幹線工事は、当社計画より遅延。	

分野	状況	2023年 3月期
ディスプレイ	半導体不足の影響とパネルの在庫過多により、2023年3月期の前半は需要が減少する見込み。	
家電・住宅建材 (難燃剤)	主要用途の家電、AV機器向けの販売は半導体不足の影響を受けるが、薄型テレビなど全般的には下期に向けて回復基調になる見込み。国内住宅建材向け断熱材用途は、半導体不足による住宅用電気製品の在庫不足と価格高騰、輸入木材不足により住宅着工が低迷し、上期は低調の見込み。	

具体的な対策

- ①前期に引き続き、採算是正を継続して実施
- ②原料価格上昇を、価格転嫁の迅速な実施で吸収
- ③インスパイアード・パートナーとの取り組み強化による新テーマ結実

連結 セグメント別売上高予想

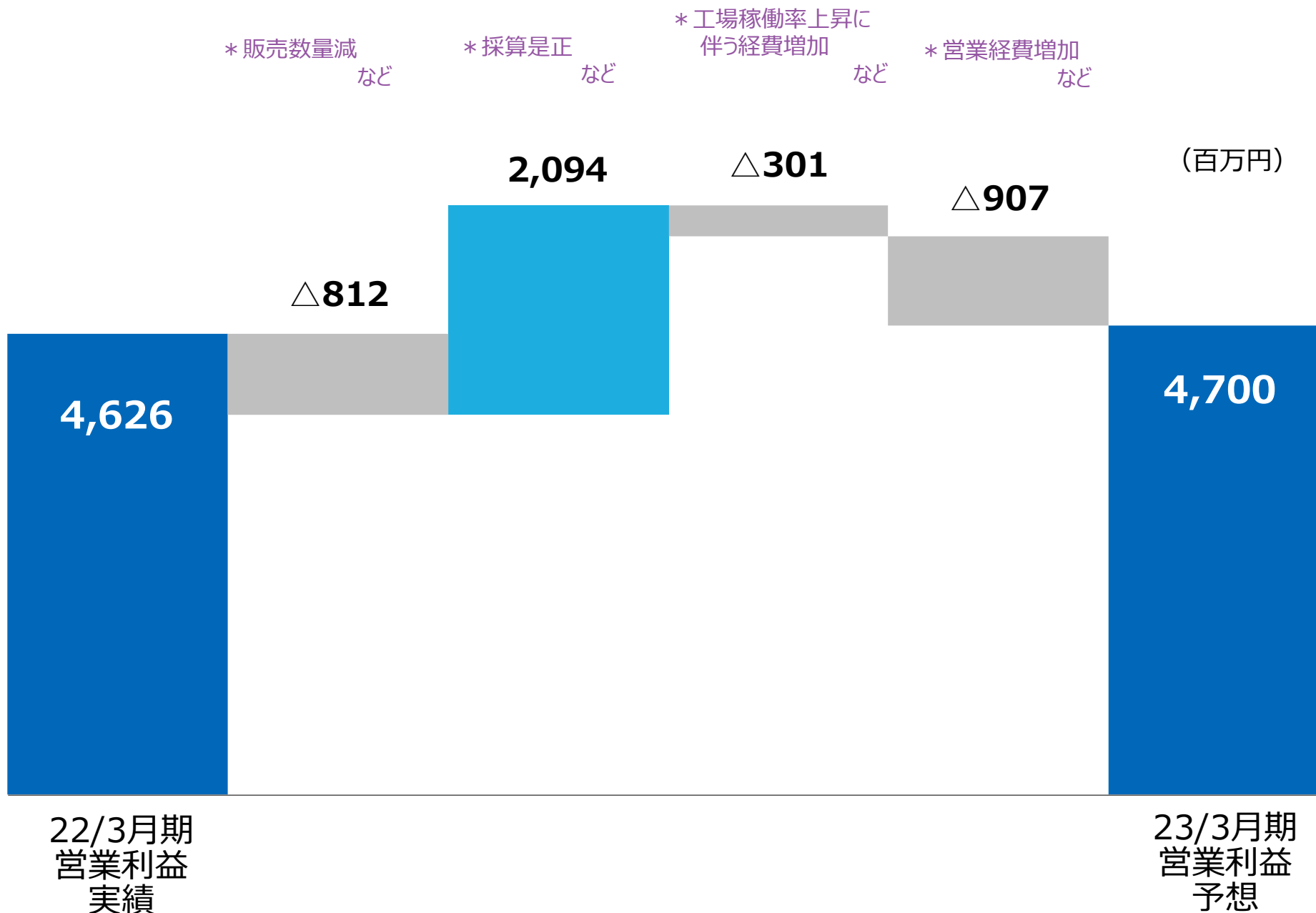


セグメント 単位：百万円	2022年3月期（実績）				2023年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比 （%）	上半期	下半期	通期	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
界面活性剤	9,063	9,501	18,564	30	9,260	9,570	18,830	29	266	1
アメニティ材料	3,858	4,234	8,092	13	4,000	4,100	8,100	12	8	0
ウレタン材料	4,234	4,060	8,294	13	4,170	4,170	8,340	13	46	1
機能材料	9,391	10,537	19,928	31	10,600	11,000	21,600	33	1,672	8
電子デバイス材料	3,632	3,684	7,316	12	3,700	3,800	7,500	12	184	3
ライフサイエンス	207	269	476	1	270	360	630	1	154	32
合計	30,387	32,285	62,672	100	32,000	33,000	65,000	100	2,328	4

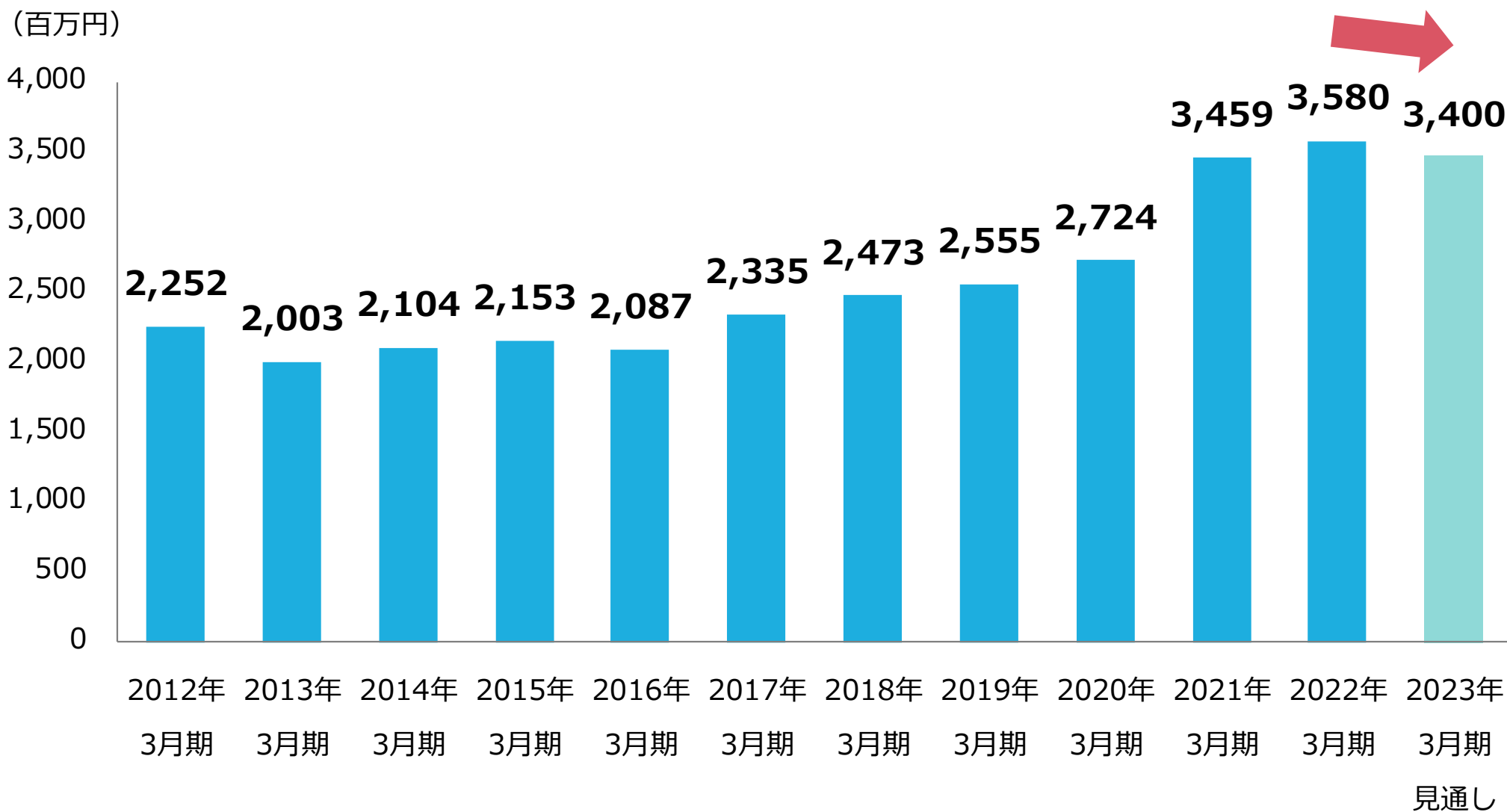
連結 セグメント別営業利益予想



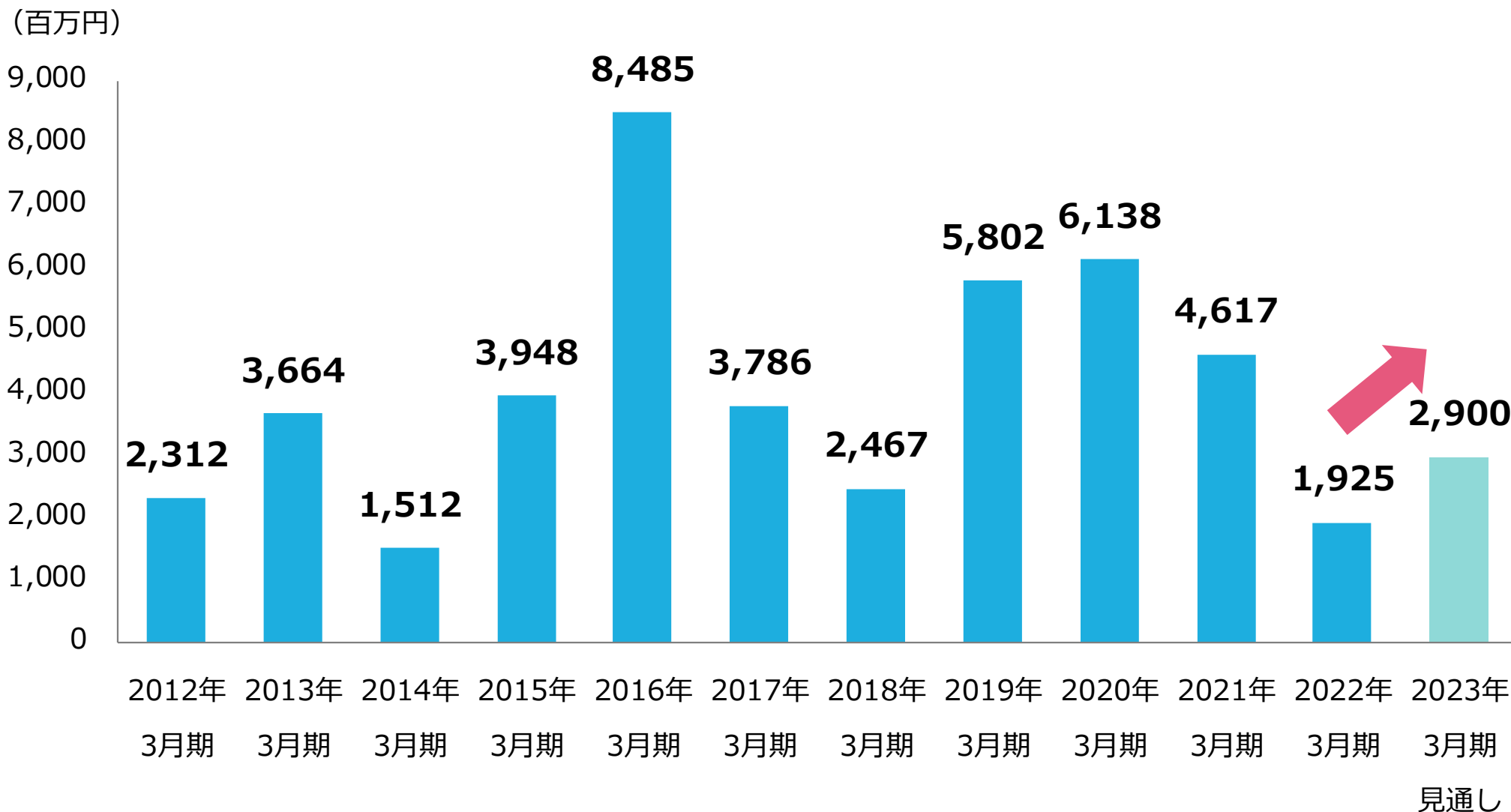
セグメント 単位：百万円	2022年3月期（実績）				2023年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比（%）	上半期	下半期	通期	構成比（%）	金額	増減率（%）
界面活性剤	1,287	1,189	2,476	55	1,170	1,360	2,530	54	54	2
アメニティ材料	237	329	566	12	250	250	500	11	△ 66	△ 12
ウレタン材料	51	4	55	1	90	80	170	4	115	209
機能材料	783	572	1,355	29	750	800	1,550	33	195	14
電子デバイス材料	361	354	715	15	380	380	760	16	45	6
ライフサイエンス	△ 272	△ 271	△ 543	△ 12	△ 440	△ 370	△ 810	△ 17	△ 267	-
合計	2,447	2,179	4,626	100	2,200	2,500	4,700	100	74	2



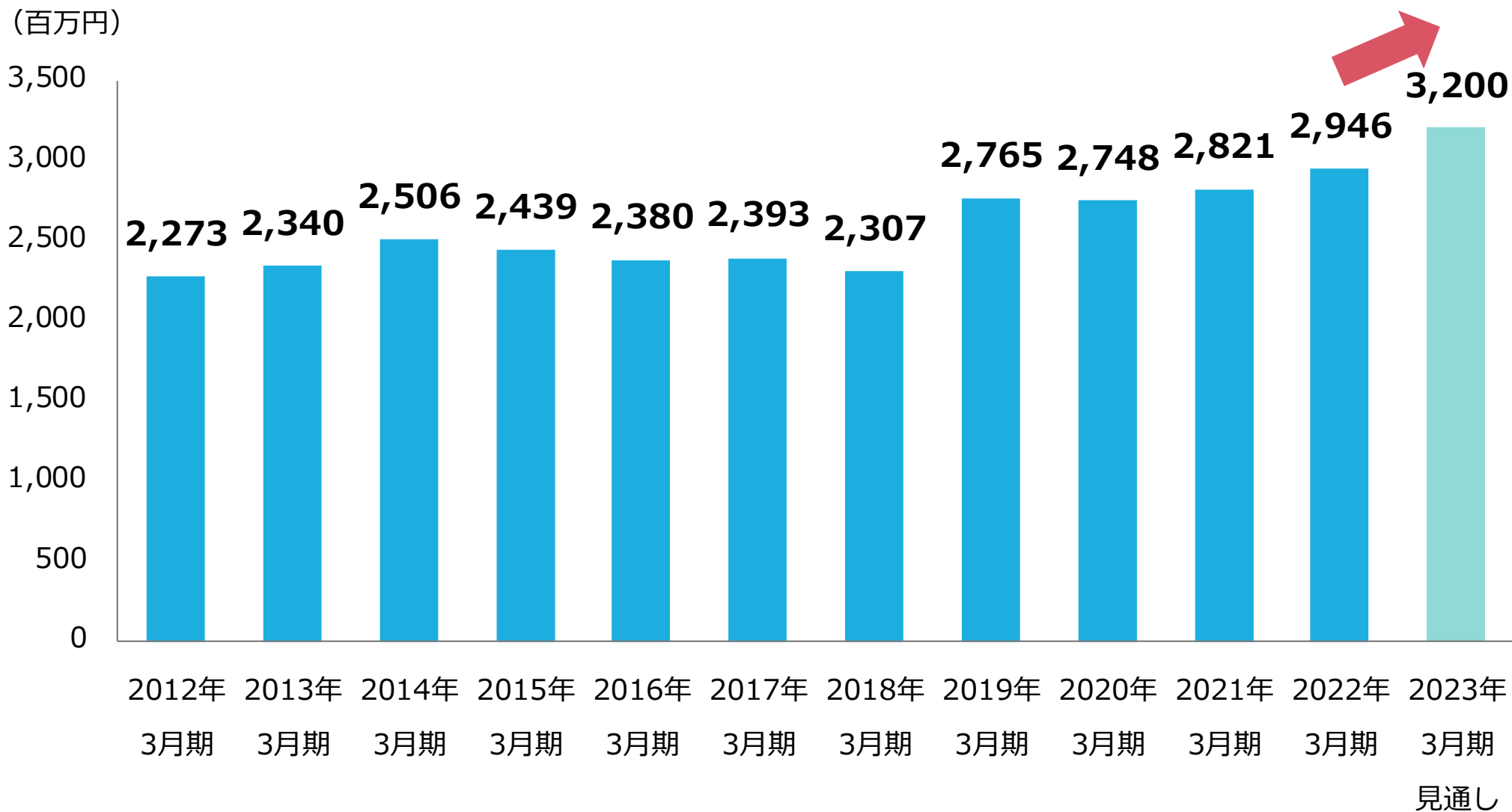
連結 減価償却費の推移



連結 設備投資額の推移



連結 研究開発費の推移



3. FELIZ 115計画の進捗とトピックス

FELIZ 115計画 重点施策の進捗



重点施策	成果・今後の目標
1 貢献しない事業からの撤退。	<ul style="list-style-type: none"> ● 価格是正をはじめとした種々の施策を推進し事業ポートフォリオの見直しを加速しました。 ● アクチャル事象の収益性が大幅に改善。収益を下支えする基盤が強化されました。
2 霞工場など、先行投資した事業の早期刈り取り。	<ul style="list-style-type: none"> ● 四日市工場霞地区の全てのプラントが稼働状態となり、顧客の需要に応じた増産対応が可能となりました。
3 霞、ライフサイエンス事業において、パートナー企業との連携を加速し、早期の事業化を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> ● ライフサイエンス事業への本格参入(新ブランド「天虫花草」、自社通販サイト開設)を発表しました。 ● 池田薬草(株)の「スダチン」(錠剤タイプ)が四国健康支援食品制度(ヘルシーフォー)に認証されました。
4 顧客志向を重点にした組織体制へ改編し、全社での組織的営業活動へ転換する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規事業の着手と充実のため、利益採算性に重点を置いた研究組織へ一新しました。
5 業績評価・報酬制度の改定を行い、貢献に応える体系に。	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業への業績貢献が正当に評価される企業風土へ変革し、従業員の幸せを考えた人事評価制度を目指します。
6 SDGs/ESG経営目標を設定。事業活動を通じ社会に貢献、企業価値向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ● 社長直轄組織である広報IR室を中心にIR活動を積極的に行い、ステークホルダーとの対話を充実させました。 ● 障がい者雇用における知識・意識の一元化を目的とした「DKSチャレンジセンター」を新たに設置することによって、個性を尊重しながら能力を最大限に引き出す体制を整えました。 ● サステナビリティ委員会を設置し、気候変動に対する取り組みを強化し、TCFD提言への賛同を表明しました。
7 社員幸福度経営を継続し、「健康経営銘柄」の維持活動や働きやすい環境整備を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「健康経営銘柄」に3年連続選定されました。 ● 「健康経営優良法人～ホワイト500～」に5年連続認定されました。 ● 「スポーツエールカンパニー」に3年連続認定されました。 ● 「DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付」5年連続で最高ランクを取得しました。

「経済産業大臣賞（事業革新部門）」最優秀賞を受賞



2021年12月、第5回100年企業顕彰※
（主催:100年経営の会）で、最優秀賞と
なる「経済産業大臣賞(事業革新部門)」
を受賞しました。

「伝統と革新」という企業の使命を意
識しながら行動してまいります。

贈賞式会場にて（写真提供：日刊工業新聞社）
（左）角野経済産業省中小企業庁長官、（右）坂本会長

※100年企業顕彰は、日本に数多い創業100年を超える長寿企業の経営理念に注目し、地域の他企業の範となる優れた企業を顕彰し、地域の雇用・税収などに貢献する優良企業を表彰することを目的として開催されています。

TCFD提言への賛同を表明、コンソーシアムに参加

2022年3月、当社はTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）に賛同表明しました。また、4月より賛同企業や金融機関が論議する場であるTCFDコンソーシアムに参画しました。

TCFDの提言に沿ってシナリオ分析し、気候変動が事業活動に与える影響等について、5月中の情報開示を進めます。

持続可能な社会の実現に向け、積極的に取り組んでまいります。



TASK FORCE ON
CLIMATE-RELATED
FINANCIAL
DISCLOSURES



TCFD
Consortium

カイコハナサナギタケ冬虫夏草の新ブランド「天虫花草」を新発売



パークハイアット京都にて：坂本会長

2022年3月24日、京都市内のホテルでライフサイエンス事業に関する取り組みと新ブランド「天虫花草」の発表会を行いました。当社webの通販サイトを立ち上げ、早期実績化を図ります。



商品説明会の模様



「天虫花草」の展示物



新商品「天虫花草」



<https://tenchukasou.jp/>

経済産業省が定める「DX認定事業者」に選定

当社は、2022年4月1日に独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が審査、経済産業省が認定する「DX認定事業者」に選定されました。



DX認定

➤ 当社の取り組み

当社は中期経営計画実現のための重点施策達成に向け、デジタル技術を活用しています。DXによる製造設備の予防保全、DX研修や研究本部にMI推進部を設置するなど、経営基盤にDXを取り入れていることが評価されました。

4. 成長への3つの道

①新体制人事



代表取締役会長
(CEO)
坂本隆司



代表取締役社長
(COO)
山路直貴

研究統括
(専務取締役)
岡本修身



営業統括
(常務取締役)
河村一二



管理統括
(取締役)
清水伸二



生産統括
(取締役)
青木素直



②成長への3つの道

1. 既存と新規分野を組み合わせた拡販と設備投資

2. ライフサイエンス事業の販売増強と研究開発

3. GMP(医薬品適正製造規範)受託製造の充実拡大



業績予想・事業計画に関する注意事項



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

広報IR室 IRグループ

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp